

例会報告

第2481回例会報告議事録

日時 29年6月20日(火曜日)

場所 川村学園女子大学 我孫子キャンパス内 会議室

時間 12:15点鐘

ロータリーソング「それでこそロータリー」

ビジター：なし

ゲスト：なし

S.A.A.：高島会員

会長挨拶

鈴木会長



来週が新旧交代式で、最後の例会となりました。過ぎてみるとあつという間でした。会長の職でいるということは69歳になった私にとって、いい意味での刺激になっていることは間違いありません。つまらない男がつまらない話をしながら、何か自分が役に立てるのであれば、何かできるのであれば、という一心でやってきたような気がします。その割には何にもしてないな、という話になるかもしれませんがこれも(笑)。

これから、私たちが生きてきた時代があつという間に過ぎて、若い人たちの時代になるのは目に見えているのですが、その中で何をお伝えしたらいいのかと考えています。かつてのロータリーはこうだよ、ロータリーの目指しているものはこうだよ、あるいは、故あって辞められた方がこの場に戻ってきて新しい方達とも交わって切磋琢磨していけるようなロータリーになったらいいかなと思ながら活動してきました。

私の長男も長いこと在籍させていただいているJCも今、交代の時期みたいです。いつも発破をかけていて、頼まれたらやれと話しています。

ありがとうございました。

親睦委員会報告

村越委員長



一年間ご協力いただきまして、ありがとうございました。

最後の親睦事業が来週の親睦ゴルフです。8名参加予定です。

出席報告

伊東会員(代理)

21名出席(全員で27名) 出席率77.77%

欠席者が7名。 業務の為:荒井会員、今井会員、鎌田会員、上村会員、湯下会員

依田会員へ青少年奉仕総括委員会、ロータリー学友委員会の委嘱状を授与



今、青少年奉仕総括委員会のロータリー学友委員会の方に outward しています。初めての outward で2790地区の他のロータリーの方々も活動できて非常に勉強になっています。

青少年学友委員会の米山の卒業生やアクト等、青少年のロータリーの活動を卒業した方々が一同に会せる学友会を作ろうと言うことで寺嶋ガバナーより拝命を受けまして、今年初めてこの委員会が立ち上がったそうです。学友会の方々が未来のロータリアンになるように活動していくという委員会です。微力ながら力を発揮できるよう頑張っていきますので、よろしく願いいたします。

小池会員へ地区幹事の委嘱状を授与



活動自体は去年の11月頃から始まっているのですが、7月からの寺嶋ガバナーの年度が始まる前に地区協議会、ペッツ、地区の委員会活動等の会場作りやプログラム作り等を手伝っています。柏クラブに幹事さんが10名位いるのですが、その他に10分区の西クラブ、東クラブ、南クラブ、我孫子クラブから1名ずつ出て活動しています。柏クラブ以外の4名については言われたことだけやっている状況です。

当初、我孫子から地区委員がなかなか決まらず、鈴木会長がしょうがないから自分がやりますと
いうことになりそうだったので、私がやることにしました。

以前、柏西の中村さんがガバナーをされた時にもやった記憶があります。面倒だなと思う反面、
色々な人と知り合えいになれるので楽しみもあります。機会があれば皆さんも出て行って、活動して
もらえると私としても嬉しいかなと思います。

一年間精一杯やりたいと思います。ご協力をいただかないといけない時もあるかと思いますが、
その時は率直に申し上げますので、よろしく願いいたします。

社会奉仕委員会報告

服部委員長



水の館に寄贈することになっている野鳥観察用の望遠鏡が7月4日の午後3時
に搬入されることになりました。手賀沼課の課長さんとお話したのですが、ロー
タリーさんも立ち会ってくださいとのことなので行って参ります。据え付ける場所
について星野市長がこだわりがあるそうなのですが、それを確認して、搬入後に
上村建設工業さんがボルトで固定してくれることになっています。

7月10日に市長室で感謝状の贈呈をしていただけたということですので、代表
して行って参ります。

姉妹クラブ委員会報告

塩毛委員長

特別、報告はありませんが、現在ハワイのクラブ会員数は43名だそうです。

幹事報告

木村幹事



- ・例会変更のお知らせ
柏西RC 7月7日(金)夜間例会、新旧役員交代式に変更

卓話

鈴木会長



いつもおしゃべりばかりさせていただいて、最後にこんな機会をいただきま
して、ありがとうございました。

いつか卓話の時に、小池さん等が生い立ちについて話されていました。小さい
頃からの話とか、苦労話とか、親父にこれを教わった、お袋にこれを教わったと
かと言う話は、その人の背景として人間形成上の話であり、人を知る上でとても
興味深い時間でした。はばかりながら、自分のこともお話できたらと思います。

先日69歳になりましたが、生まれは四国の香川県普通寺という、弘法大師が生まれたところ
です。

普通寺には乃木希典(のぎまれすけ)のいた陸軍第11師団という強い軍隊があって、兵隊ラッ
パが鳴って、お寺の鐘がゴーン、ゴーンというような土壌のところでも育ちました。

もともと香川県には庄内半島という浦島太郎の伝説がある町があるのですが、私の先祖はそ
こでタイ網の網元をしていたようです。私の父の両親が大浜を出て、家財を積んだ大八車を押し
て、父が生まれる前に普通寺に行ったそうです。普通寺はお寺があってお遍路さんやお寺参り
の人が多いため、その人達を相手に木賃宿のような宿屋をやったそうです。当時、食糧事情も悪
く、旅館のお客さんに出すかまぼこの端がごちそうで、とてもおいしかったとか、いろいろな苦労
話を父から聞かされました。

父は旧制丸亀高校に行って、兄弟のような従兄弟と東京医科歯科大学の前身の東京歯科専
門学校という所に行きました。当時、歯医者さんがいなくて、大工の道具のようなものを持って
「歯が痛い人はおらんかい」と一軒一軒訪ねて治療をしていたそうで、祖母が「これからはこうい
う仕事は人助けに大事だろう」ということで自分の孫2人を歯科専門学校に行かせたそうです。
婆さんも一緒に中野の方に部屋を借りて、飯を炊いてくれたそうです。一番上の兄さんが木賃宿
で一生懸命働いて仕送りをして、学校に出したそうです。そういう訳で私の親戚には歯医者だけ
で20数名が全国津々浦々にいます。

父の思い出話はいっぱいあります。相当苦労をしたし、愛の深い人でした。(次ページへ続く)

当時の善通寺というところには、今のような健康志向の八十八箇所のお遍路さんというより、ライ病の患者さんがいっぱいいました。瀬戸内にはライ病患者を収容する島がありました。

ある日、ライ患者の人が来て、父は他の患者さんを帰して、ライ病の患者さんの歯を診て、その後、部屋を消毒したそうです。

私が高校受験に失敗した時に父は怒ったけれども、受かって落ちてもお世話になったんだから塾の先生にお礼に行きたくていと言われ、お礼を言いに行ったら、先生は逆に恐縮されました。

蚊が飛んで来ても殺さずに、父は「お前達は殺生な奴だ。この蚊にも嫁も子もいるんじゃ」と半分真顔で言って、吹いて家に帰れと言っていました。

とりわけ弱い人に対して優しい人でした。

うちの家族は11人の家族でした。私たち兄弟5人、父母、婆さん、技工士さんが1人、お手伝いさんが1人、母の妹が行儀見習いでいました。母は朝昼晩、薪でご飯を炊いていました。

有馬さんという技工士さんが住み込みでいました。小柄な方で、戦争で満州から引き上げて善通寺にある旧騎兵隊の兵舎にお母さんと2人で泊まっていた。勉強は中学でトップクラスだったけれど高校に行けず、うちで住み込みで働いて、裏の寒い部屋に泊まっていた。父が有馬さんを大事にしていたのはよくわかりました。母が朝、僕たちに握り飯を食わしたら、必ず彼を呼んで、一緒に食べなさいと言っていました。

困った人に対する愛情を僕らの前で見せてくれた父に対してはありがたいなと思っています。

僕の小さな感動ですが、子どもの頃からのそういう感動を今日は羅列したいなと思っています。

讃岐の人間は昔はうどんを自分で打っていました。ある時、兄2人と3人でみかん農家の家にみかん狩りに行きました。

母にお肉を持たされてバスに乗って行きました。午前中にみかん狩りをして、お昼に肉うどんをご馳走になりました。なんと、そのお家のおじさんは朝から半日うどんを踏んで、僕らに美味しいうどんを食べさせてくれました。これも忘れられない話です。

数億人を救った特効薬を開発された、医学生理学賞のノーベル賞を取られた木村智教授がいっぱいいます。この人も、小さい頃から祖父母から「人のためになる仕事をしなさい」と教えられ、定時制高校の先生もしていらっしゃいました。町工場で仕事を終えて勉強しにくる、生徒たちの油まみれの手を見て胸を打たれたそうです。

受賞した時に「今回の受賞は微生物の力を借りただけ。この賞は微生物にも分けてあげなければいけない」とおっしゃいました。こういう素晴らしい心がけがノーベル賞を生むのかなと思います。

淀川キリスト教病院というホスピスが大阪にあります。スタッフの真心がいつかテレビ放映されていました。最後に食べたいものを食べていただく時に、医師、看護婦、厨房、家族が全員で精一杯準備したばってら寿司が出されました。おじさんはたったの一切れしか食べられなかったけれど、おじさんの顔からは嬉しさと感謝の表情が読み取れました。

聖路加病院の日野原先生が私が行っている東京の教会に年に一回来られます。小学生の子どもが「命って何?」と訪ねた時に「自分が使える時間のこと」と日野原先生はおっしゃいました。

よく子ども達にする話です。

3人の職人さんがレンガを積んでいました。

「なぜ、あなたはレンガを積むのですか」という質問に1人目の職人さんは「お金を稼ぐ為にレンガを積んでいるのさ」と答えました。2人目の職人さんは「言われた通りにレンガを積んでいるのですよ」と答えました。3人目の職人さんは「このレンガを積んで、ここに素敵な学校を作るんですよ。子ども達の喜ぶ顔が見たくてね」と答えました。3人目の職人さんは顔がキラキラと輝いていました。

ロータリークラブというのは職業奉仕を通して、ある面、3人目の職人さんのような姿を理想としているのかなと思います。

男親と女親の違いというような話がよくありますが、今は、男親、女親も一緒の形のような家庭も多いと思います。

みかんというのは1個の実を作るのに何枚くらいの葉っぱが必要かということ、60枚くらいの葉っぱが必要なのだそうです。60枚の葉っぱが光を受けて養分を得て実が1個できるのだそうです。みかんというのは黙って葉っぱが働いています。親父というのは黙って、こつこつ人のために働いている姿を通して子どもに教育をするということを教わっているような気がします。

どこに向かって生きて行ったらいいのか。

自分に愛情がないにもかかわらず、スタッフにしても、人に対する愛情がどれくらいあるのかなということを見れば1つの基準にしています。僕だったらこうするのにということ、その人がしなかったら腹立たしく思ったりもするんだけど、自分だって愛が乏しいのだから、許す心を持ち

ながら、みんなで手をつないでやっていけたらと思います。

来年度は力のある服部さんが会長ですから、皆さんと共にいい時が過ごせるんじゃないかと思っています。ありがとうございました。

高島 S.A.A. より



2年間S.A.A.をやらせていただきました。来週は欠席させていただくので、今日が最後になりました。申し訳ありません。2年間ありがとうございました。なかなかうまくいかなくて、どうなのかなということもあったと思います。次は依田会員です。よろしくお願いします。

ニコニコBOX

お名前	メッセージ	金額
鈴木会長	卓話をさせていただきました。感謝。	2,000円
小池会員	寺嶋ガバナーより地区委員の委嘱状を頂きました。	1,000円
佐藤会員	今日は暑いです。	1,000円
高島会員	2年間S.A.A.を勤めさせていただきました。ご協力有難うございました。最終例会欠席させていただきます。	1,000円
藤本会員	鈴木さん 一年間おつかれさまでした。	1,000円
	当日計	6,000円
	今期累計	379,000円

今週の表紙「湖北サンバカーニバル」我孫子市湖北駅南口

1998年頃から始まり、今では湖北台商店街の伝統行事になっている、湖北台南口商店会主催のサンバのパレードです。本物の浅草のダンサーが来て、駅前から本通りの商店街を約700メートル踊りながら練り歩きます。毎年、カーニバル当日は相当な見物客で湖北駅南口は賑わいます。

ロータリーの友事務局 ホームページ www.rotary-no-tomo.jp メールは web@rotary-no-tomo.jp

環境NPOオフィス町内会が中心となって2005年に立ち上げた新たな間伐促進活動が「森の町内会」です。この活動に賛同して「印刷用紙」や「コピー用紙」を使用する企業は2009年9月現在、92社にのぼり、その環境貢献として促進される岩手県岩泉町・葛巻町・青森県三沢市での間伐は、年間30haの規模になっています。グリーン購入大賞で大賞を、山村カコンクールで林野庁長官賞を受賞しています。



この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

我孫子ロータリークラブは、環境貢献として、「森の町内会」を応援します。